

## 2021年度 Seinan Millennial Project 成果報告書

取組名称	西新お弁当で繋ぐプロジェクト
取組責任者	齋藤 仁志
取組担当者	硬式野球部クリエイティブチーム



## 1. 取組みの概要、および活動内容

## &lt;概要&gt;

5W1H (who, where, when, what, why, how) を意識し、200~300 字程度で記入してください。

本活動は、「西新商店街と本学学生をお弁当で繋ぎ、お互いに盛り上げていきたい」という目的をもって取り組みました。商店街の各飲食店に飛び込みで企画の概要を説明し、賛同してくれる店舗と大学内でお弁当を販売しました。お弁当販売で繋がった店舗と学生との関係を今回だけにするのではなく、その後も実際に店舗に足を運んでもらうためにクーポン券や商店街のマップを発行して繋がりを強化するための政策を店舗と協力して行いました。今回の企画を通して商店街と本学学生の繋がりを強めることができ、お互いに盛り上げることが出来ました。

## &lt;活動内容&gt;

経費の有無に関わらず、本取組の活動内容を時系列で記入してください。

- 7月：企画の立ち上げ、資料の作成
- 8月：学校、飲食店との打ち合わせ
- 9月：プロジェクトで使用する資料の印刷、営業で話す内容の共有
- 10月：飲食店に営業活動開始、及び打ち合わせ
- 11月：大学内でのお弁当販売実施、アンケートの収集
- 12月：飲食店の紹介を硬式野球部の公式 YouTube で公開、関係者への御礼回り

## 2. 得られた成果

### <申請当初の目的・計画の達成度>

申請書の「3. 達成目標」と照らして、どの程度の達成度であったかを記入してください。

当初目標としていた100個のお弁当を販売することが出来なかったが、100個に近い個数を販売することができたので達成度は高いです。

当初の目的であった商店街と学生を繋ぐことをお弁当販売で強化することができました。実際に店主の方に販売を行ってもらい、今の学生の現状を知っていただけたと思います。また、私たち野球部も一緒にお弁当販売をさせていただきましたが、お弁当を売る難しさ、お弁当が売れたときの嬉しさ、普段体験することができないことができたのでとても貴重な体験をさせていただきました。

### <優れた成果があがった点>

活動を通して特に成果があがったと感じた点について記入してください。

今回のプロジェクトを通してイベントの企画・実行することの難しさを学ぶことができました。企画を一回作ったとしても実際に営業をしてみれば改善点が何度も出てきて書き直しということがありました。また、営業活動でも当初は出店してくれる店舗が少なく、手がつけられない状態でしたが仲間と改善点を見つけ出し、メリットを提示することで賛同してくれる店舗が増えました。この活動を通して仲間と協力することの大切さを改めて感じました。

## 3. その他

実際に取り組んでみた感想や今後取り組んでいきたいことなど、自由に記入してください。

実際にお弁当販売を店主の方と行い、私たちは客寄せをしてお弁当販売に貢献してきました。その活動を通して店主の方とのコミュニケーションをとることができ商店街・飲食店の経営の仕方など普段学ぶことができないことを聞くことができました。

今後も商店街との関係を強化するために色々なイベントに参加していき交流を深めていきたいと考えています。次は野球部だけではなく一般の学生も巻き込めるようなイベントを企画していきたいと考えています。